

取扱説明書 FR-0201

フェアレディZ VQ35 733

この度は RAM AIR SYSTEM を御買い求め頂き有難うございます。作業に入る前に右の パーツリストと照らし合わせて部品が全部揃っていることを確認してください。

- ●一般公道等、歩行者や他の交通の妨げになる場所では作業しないで下さい。
- ●作業中に車が動き出さないように平坦な場所でサイドブレーキ等をかけて確実に停車さ せて下さい。また、エンジンキーを抜きエンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。 ●作業を行う場合は作業に適した服装で、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等
- を使用して下さい。 ●装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って
- 下さい。 ●表記車種以外の車に取り付ける際の加工については当社は一切責任を負いません。 ●取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 正しいモータースポーツと暴走行為とは全く異質のものです。本製品を御利用頂く皆様に充

ノーマルクリーナーの取り外し

分なる御理解と法規則にのっとった正しい使用をされる事をお願い申し上げます。

PARTS LIST \nearrow ステーB×1 ステーC×2 フィルターケース ステーA×1 **日本 ビスA×5** #12保護チューブ 50mm × 1 **日本 ビスB×4** 導入ダクト ナット×7 バンド#52×2 **満ゴム×**1 フレキシブルホース3インチ

※フィルターケースにフィルター、ロアケース、Vクランプ、ロアクランプ、アダプターはセットした

1:フロントアンダーカバーを外します。(ボルト14筒所、クリップ1筒所) 状態で包装されています フロントバンパーを取り外します。(ボルト4箇所、クリップ6箇所、タッピングビス4箇所) 取り外し方法の詳細は整備書に従って作業を行って下さい。

2:エアフロセンサーのカプラーを外しノーマルクリーナーをクリーナー ケースごと取り外します。同時にノーマルケースステーも取り外します。

3: クリーナーケースからエアフロセンサーを取り外します。

4:ノーマルの導入口をステーをずらして取り外します。

注意:エアフロセンサーを落としたり、キズを つけないように取扱いには注意して下さい。

バンパーブラケットに付属の溝ゴムを付けて下さい。



ラムエアシステムの取り付け

- 注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。
- 1: エアフロメーターにアダプターをビスBとナットを使用して取り付けます。 導入ダクトにステーを仮組みします。
- 2:フィルターケースにフレキシブルホースを取り付けます。

この穴は使用しませんのでビスAで寒ぎます。 フレキシブルホース 保護ラバー ビスA/ナ ビスA/ナット エアフロメーター アダプター フィルター Vクランプ フィルターケース 3:「2」で組み付けたファイルターケースをエンジンルーム内に配置します。(下図参照)

4:ノーマルのインテークホースに「1」で組み付けたエアフロメーターを取り付けます。

5:アダプターとフィルターケース間にフィルターを挟み専用バンドで締め込みます。 バンドとエアコンホースが干渉するので、エアコンホースに付属の#12保護チューブをかぶせます。

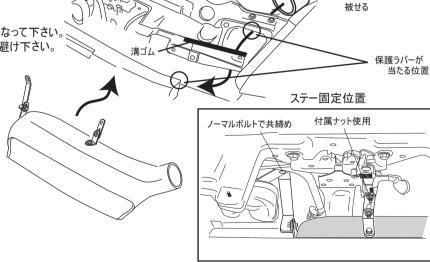
6: 導入ダクトをラジェターとバンパーの間に入れ、ステーを固定します。(下図参照) 導入ダクトは高さを上下にアジャストできます。下方向で固定すると外気導入がより効果的ですが 豪雨時など水の浸入に注意が必要です。

7:フレキシブルホースを導入ダクトに取り付けます。その際、保護ラバーが ボディ角部と干渉する位置にきているか確認して下さい。 必要に応じて保護ラバーの位置を調整して下さい。

8:エアフロメーターのカプラーを元の通りに取り付けます。

9: バンパー、アンダーカバーを元の通りに取り付けます。

注意:必ず定期的に増し締め点検を行なって下さい。 また、豪雨時での全開走行はお避け下さい。



※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

導入ダクト

Vクランプと干渉するエアコン

ホースに保護チューブを

Gruppe Minc. 株式会社 グループ・エム 〒351-0015 埼玉県朝霞市幸町3-12-24 Tel.048-450-2911 FAX.048-450-2912